



9月の市民提案月間に伴い実施されました「市長への手紙」に、78通が寄せられました。市民の皆さんのご意見やご要望を市長が拝見し、記名いただいた方には、返事を送付しました。ここでは、いただいた手紙の中から、多数寄せられたもの、代表的なものを要約してご紹介します。

除雪について

冬期間の除雪が遅い。冬期間における通勤の便を確保してほしい。

市では基本的に幅員が4m以上、もしくは人家のある集落へ通じる唯一の道路の場合交通量の大小・重要度、機械での除雪が可能であるかどうかなどの判断から、市内全域で全延長20.2kmの市道除雪を行っています。また、早朝の作業開始や、午後からの除雪作業着手については、積雪が10cm程度に達し、さらに降雪が予想された時に除雪作業を開始するよう判断しています。

さらに、毎年11月下旬には、区長会代表をはじめとする関係機関で雪害対策会議を開催し、問題点の解決を図っています。

雪が多く降る奥越地方に住む私たちの除雪作業は市民の皆様と市の基本的な協働作業であると考えています。機械で除雪をしますので、全てに行き届かないところができます。周辺の除雪作業にご協力くださるようお願いいたします。

歩道の段差について

歩道の段差は、歩く者には不自由です。冬の除雪の障害にもなります。横断歩道との段差をなくし、バリアフリーで障害者やお年寄りに利用しやすくしてほしい。

車道と歩道の段差は、車が歩道に進入しないように段差をつけて設置してきました。現在は、歩くことへの関心が高まり、バリアフリーの観点からも大きな問題となっており、歩道設置基準も段差のないものに変更になっています。

勝山市では、この問題を解決すべく、現在、立石交差点から沢交差点間の歩道整備を行っています。今後も他の路線にもわたるよう、計画を積極的に進めてまいります。

企業誘致について

企業を誘致して、若者が働く場を確保し、勝山に活気を取り戻してほしい。

「若者が働ける企業」を誘致するこ

ケーブルテレビの整備について

地域間情報格差の是正、地上デジタル放送移行に伴う視聴者の負担も考え、早急に行政として検討する必要があるのでは。

現在、市内で民間ケーブルテレビ視聴可能世帯数は推計約3000世帯で世帯カバー率は約4割となっていますが、加入数は約600世帯とまだまだ実際に普及していない現状があります。

勝山市でもこれまで何回かケーブルテレビの整備の検討を行ってまいりますが、導入経費・維持経費がともに非常に高額なため、現在の厳しい財政状況では困難であると考えます。

しかし、市内の高速インターネット網の整備については、NTTの光ファイバーサービス未対応地区を対象に、今後計画していく予定です。

介護保険料について

介護保険料が、18年度分が、17年度に比べ年額7千円以上上がりびっくりしました。今後、高くなりそうです。

現在、当市の65歳以上の高齢者は全人口の27%超となり、数年前には団塊の世代が65歳を迎え、高齢化率はますます高くなる見込みとなっています。介護保険料は給付と負担の関係から

とは、勝山市にとって重要な課題であると認識しております。

国内における経済状況は順調な景気回復軌道をたどっていますが、当市は地場産業の低迷による雇用機会の減少や人口流出傾向から、地域力の低下が懸念される状態であると思っています。

企業の誘致は市民が地元で心身共に豊かな生活を送るために、全国の自治体に共通する重要課題であり、自治体が所有する工業団地が供給過剰気味であることから、さながら誘致合戦の様相となっています。このため勝山市の地理的条件や立場を考えると厳しい面が多々あります。

ここ近年、企業誘致を進めるため工業振興条例の優遇措置を引き上げるなどの政策を展開し、少しでも企業が立地しやすい条件を備えて、情報発信、PRに努め、企業誘致に努めていきます。

(仮称)おりものミュージアム

「(仮称)おりものミュージアム」の建設は、勝山市の財政状況から厳しいので、奥越地域地場産業振興センターなどで既存建物の一部を展示活用してはどうか。そして、旧機業場跡地を市営駐車場にしては。

旧機業場は繊維のまち「かつやま」の歴史文化を伝える建物として文化財

財政改革実施計画の中ですでに24名を削減しており、平成24年までに52名の削減を進めていきます。

市役所は市民のためにあることを心し、一層少数精鋭による行政運営に努めてまいりますと存じます。

市の事業のPR活動について

市で行った皆さんの事業を勝山市民に知ってもらうために、テレビや掲示板でもっと宣伝してほしい。

「勝山市が行う事業は、勝山のみならず知ってもらいたい」という気持ちも私も同感です。

現在のところ、勝山市では、広報誌、ホームページ、全戸に配布する連絡や通知等の文書により、市民のかたに事業等のお知らせをしています。

ただ、テレビで独自の番組を制作して放映するには、あまりに多額の費用がかかるため、勝山市では対応していません。このため、重要な報道事項や大規模のイベント等については記者会見をし、報道機関に情報を提供して、広く多くのかたに知らせる手段を講じています。また、最近ではNHKの地上デジタル放送のデータ放送による提供も行っていきます。今後も多様なメディア媒体を利用して、多くの人の目に留まるようなPR活動をしていきます。

的価値が評価されています。勝山市の発展を支えてきた繊維産業の歴史、先達が残した知恵や努力のあとを目に見える形で保存し、活用して次の世代に伝えていく施設にします。活用方法としては、展示機能、市民が集い活動する交流機能、そして市内の魅力を紹介するインフォメーション機能を柱に展示だけではなく、体験・学習ができる機能も併せた施設整備を行う予定です。

駐車場の整備については、併設する駐車場に加え、隣接する市民交流広場での臨時駐車場としての機能を持たせることで対応したいと思えます。

高齢者の働ける環境づくりについて

勝山市は高齢者の多いまちです。高齢者にも働ける環境づくりをしてほしい。

勝山市にはシルバー人材センターが設置され、多くの会員の皆様が生きがいや健康維持などを目的にご活躍されています。シルバー人材センターでは、定年退職者などの高齢者にそのライフスタイルに合わせた臨時的・短期的な雇用・就業機会を提供しており、市でもその活動を支援していきたいと思えます。

いただいたご意見やご要望については今後の市政運営の参考とさせていただきます。

勝山市ホームページでは、いただいたご意見やご要望およびその回答についての概要をまとめた一覧を、12月中旬に掲載する予定です。目的別検索から
知る・制度→市役所→市長
↓市長への手紙
あるいは、ホームページ内検索から「市長への手紙」と入力して検索ください。

手紙を送る際のお願

「市長への手紙」は返事が遅いとの苦情が寄せられます。このため、迅速な対応に改めるために、次のことにご協力ください。

☆お寄せいただいた「市長への手紙」は、市長が確認のうえ丁寧に対応しています。しかし、匿名では回答できません。必ず、住所、氏名の記載をお願いします

☆内容は市政や制度等に対する意見や要望をお寄せくださいますようお願いいたします

※個人情報保護法に基づき、お問い合わせの目的には使用しません

※身近な問題へのご要望や苦情等につきましては、区長を通して、市へご要望ください

問 市長公室 秘書 広報課
広報広聴グループ(☎内線214)